

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	芦屋ビビッドWest	事業所番号	2815101122
住所	神戸市中央区大日通 7 丁目1-1	管理者名	大江 いずみ
電話番号	078-855-2801	対象年度	令和 7 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：芦屋ビビッドWest事業所内 実施日程：2026年3月18日(水) 10:30～ 利用者数：10名 実施内容：お金の使い方セミナー</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>本事業所では、利用者の生活の安定および自立の促進を目的として、「お金の使い方セミナー」を実施した。収入と支出のバランスや計画的な金銭管理、支出の優先順位等について理解を深め、日常生活において適切な金銭管理が行えるよう支援した。 本取組により、利用者の収支管理能力の向上や無駄遣いの抑制が期待されるとともに、就労により得た賃金を有効に活用する意識の向上につながり、生活の安定および継続的な就労意欲の向上に寄与するものである。</p>	
<p><成果></p> <p>本セミナーの実施により、利用者は収入と支出の関係や計画的な金銭管理の重要性について理解を深めることができた。特に、支出の優先順位や無駄遣いの見直しについて意識が高まり、日常生活における金銭の使い方を振り返る姿勢が見られた。一方で、理解は得られたものの、実際の生活場面において継続的に実践することが難しい利用者も見受けられることから、障害特性に応じた分かりやすい説明や反復的な支援の充実も課題として挙げられる。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>本取組については、関係職員間で情報共有を行いながら連携して実施した結果、利用者の理解度や反応を踏まえた支援が可能となり、一定の効果が認められた。一方で、支援内容や関わり方にばらつきが見られる場面もあり、連携の質の均一化が課題として挙げられる。今後は、支援方針や関わり方の共有をより徹底するとともに、定期的な振り返りや情報共有の機会を設けることで、職員間の連携を強化し、より効果的な支援の提供につなげていく必要がある。</p>	
連携先企業（担当者）	

利用者からの意見・評価

<p>利用者からは、「お金の使い方を改めて考えるきっかけになった」「無駄遣いを減らそうと思った」「収入と支出のバランスを意識するようになった」等の意見が聞かれ、本セミナーにより金銭管理に対する意識の向上が見られた。 また、「分かりやすかった」「今後の生活に役立てたい」といった前向きな評価が多く得られた一方で、「実際に続けていくのが難しい」「具体的なやり方をもう少し知りたい」といった意見もあり、今後は継続的な支援や個別のフォローの必要性が示された。</p>
